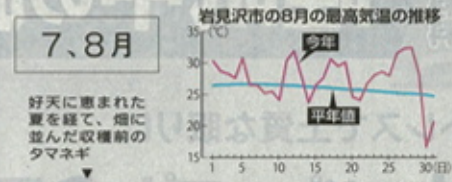




岩見沢管内での農業収穫間近ほぼ豊作の予定

夏の空知 好天、高温

農作物順調豊作に期待
観光施設コロナで苦戦



真夏日多く雨少なく



今夏の岩見沢管内は6月の積雪的な日照不足から一転、7、8月は好天に恵まれ、気温も平年に比べて高め推移した管内に於ける農地は7、8月の日照時間の合計は平年の約1.5倍に達した。岩見沢管内では最高気温が30度を超える真夏日が8月だけでも10日連続し、過去10年で最も多かった。降水量も少な、高温少雨の夏だった。

7、8月に管内で好天に恵まれて、農作物の生育は順調に推移している。空知総合振興局管内では、7、8月の日照時間の合計は平年の約1.5倍に達した。岩見沢管内では最高気温が30度を超える真夏日が8月だけでも10日連続し、過去10年で最も多かった。降水量も少な、高温少雨の夏だった。



実りの秋 黄金色の稲穂

【南幌】町内南幌西3の稲作専業農家山本克幸さん(62)の「ゆめびりか」の田んぼで3日、収穫作業が始まった。天候に恵まれ、黄金色に染まった稲穂がコシバインでみるみる刈り取られていった。山本さんは約6秒で米を生産し、稲刈り初日は昨年より2日遅い。それでもお盆後に暑い日が続いたため、予定を数日早めたという。山本さんによると、稲穂の状態から、反収(10アール当たり収穫量)は、昨年より1俵(60kg)多い8.5俵が見込めるとし「ますますの豊作」と笑顔で語った。空知総合振興局農務課によると「稲刈りは今月中旬以降が最盛期」という。8月15日現在の空知管内の水稲の作況は「やや良」(作況指数1.02~1.05)。(土屋孝浩)



黄金色に染まったゆめびりかの稲穂を刈る山本克幸さん(62)日



黄金の実り 羊蹄に秋

黄金色に実ったゆめびりかの収穫が始まった同正入さんの水田

蘭越 稲刈り始まる

【蘭越】産の良さを誇る蘭越産米は、今年も好天に恵まれ、生育は順調。農作物の生育は順調に推移している。空知総合振興局管内では、7、8月の日照時間の合計は平年の約1.5倍に達した。岩見沢管内では最高気温が30度を超える真夏日が8月だけでも10日連続し、過去10年で最も多かった。降水量も少な、高温少雨の夏だった。